

登録コード	HB190200	開講年度	2026					
授業題目	生体計測工学特論				担当教員	阿部 誠		
英文授業名	Advanced Bioinstrumentation Engineering				副担当			
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	博士課程学生
				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)			
	2026HB3年制加, 2025HB3年制加, 2024HB3年制加, 2023HB3年制加							
	【専攻】医学と理工学の融合領域の専門分野における深い知識・卓越した技能				医学と理工学の融合領域の専門分野における深い知識・卓越した技能			
	【専攻】医学と理工学の融合領域における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				医学と理工学の融合領域における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力			
	【専攻】医学系や理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				医学系や理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力			
(2)詳細 /Detailed information	医療に関する社会的課題の解決に向けた，生体計測工学の重要性について，さまざまな側面を最新の論文を通して学び，自身の研究に応用できる技術を模索する方法を学ぶ．また，プレゼンテーションと討論を通して，受講者全員へのより深い理解と解決策の立案に役立てられるようにする．							
(3)授業の概要 /Overview of course	受講者が医療に関する社会的課題の解決につながると考えられる生体計測工学的な論文を探索し，その内容を発表するとともに受講者全員で討論を行う．							
(4)授業計画 /Course plan	担当教員が指定した日時に，各自が調べた文献に関するプレゼンテーションを実施することとする．授業は不定期に開講されるため，担当教員と必ず連絡を取れるようにすること．							
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	プレゼンテーションの内容，討論への参加意欲，出席状況で評価する．90点以上をS，80～89点をA，70～79点をB，60～69点をC，59点以下をD（不可）とする．							
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria	課題に対して発展的かつ独創的な内容を発表・討論できる：「卓越している」 課題に対して発展的な内容を発表・討論できる：「かなり上にある」 課題に対して詳細な内容を発表・討論できる：「やや上にある」 課題に対して最低限の内容を発表・討論できる：「その水準にある」							
(7)履修上の注意 ・事前事後学習 の内容/Notes	不定期開講のため，受講者は担当教員まで電子メールで問い合わせること．							
(8)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	電子メールにて随時受け付ける．							
(9)授業の形式 /Course format	不定期開講の集中講義							
【教科書 /Textbook(s)】	指定しない							
【参考書 /Reference work(s)】	講義中に随時指定する							